

「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」開催される

(公社)日本港湾協会、全国港湾知事協議会、港湾都市協議会、日本港湾振興団体連合会、港湾海岸防災協議会で構成する「経済と暮らしを支える港づくり全国大会実行委員会」は、令和5年10月19日東京・平河町の砂防会館大ホールにおいて「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」を開催し、全国各地より港湾管理者をはじめとする港湾関係者約1,300名が参加した。

主催者として(公社)日本港湾協会会長、全国港湾知事協議会会長(湯崎英彦広島県知事)、港湾都市協議会会長(久元喜造神戸市長)、日本港湾振興団体連合会会長(中原八一新潟市長)がそれぞれ挨拶された。また、港湾海岸防災協議会副会長(楠瀬耕作須崎市長)をご紹介した。

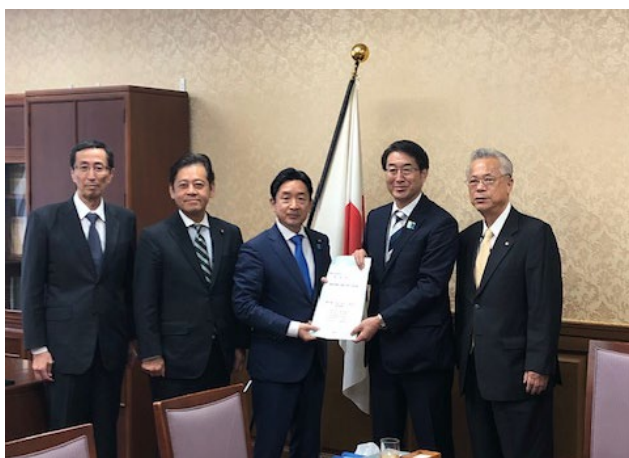
次に、来賓として堂故茂国土交通副大臣よりご祝辞を頂いた。

また、同じく来賓として、港湾海岸防災協議会の会長をお務め頂いている森山裕自由民主党港湾議員連盟会長、中野洋昌公明党海事・港湾振興議員懇話会幹事長より、それぞれご挨拶を頂いた。

その後、ご来賓の加藤竜祥国土交通大臣政務官、石橋林太郎国土交通大臣政務官、国会議員の諸先生方、稲田雅裕国土交通省港湾局長、各地区で港湾整備振興のためにご尽力されている支部連合会代表の方々をご紹介した。

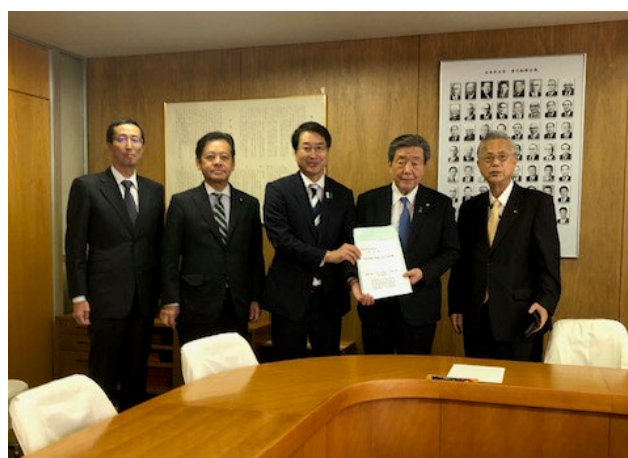
稲田港湾局長から港湾行政の報告を受けた後、田村祥三利尻富士町長、田口伸一鹿嶋市長、神出政巳海南市長、下平晴行志布志市長から港湾整備振興、海岸防災に関する意見表明がなされ、引き続き、枝広直幹福山市長が「港湾の整備・振興に関する要望書」を提案し、満場一致の賛同を得、進藤日本港湾協会会長から加藤国土交通大臣政務官と石橋国土交通大臣政務官に要望書が手渡された。万雷の拍手の中、国土交通省、政府与党、国会議員、財政当局等に要望書をお届けし、その実現に向け要望活動を行っていくことを確認して全国大会は終了した。

終了後、主催者団体から財務省政務三役、自由民主党三役、国土交通省政務三役等に要望書を提出し、要望活動を行った。



財務省要望 (左から)

大協理事長、宮内自民党港議連事務局次長、
瀬戸財務大臣政務官 中原新潟市長、神出海南市長



自民党本部要望 (左から)

大協理事長、宮内自民党港議連事務局次長、
中原新潟市長、森山総務会長、神出海南市長